

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

パブリックコメントによる意見及び市の考え方

1 パブリックコメント実施期間 令和4年11月1日（火）から令和4年11月30日（水）

2 意見数 5名、13件

3 ご意見に対する市の考え方 次の表のとおり

NO	意見内容	市の回答	修正有無
1	<p>初めてのパブリックコメントになります。趣旨と違っていたら申し訳ございませんが、この先何十年と鎌ヶ谷に住む予定なのでこの機会にコメントさせてください。</p> <p>北初富駅から新鎌ヶ谷駅に向かって高架沿いに「緑道」を計画されているのをこれまでいくつかの資料で拝見しました。</p> <p>今回の資料にもエコロジカルネットワーク(道路の植栽)など書かれていたかと思いますが、歩行者用道路とは別に、自転車用の道路は整備予定でしょうか？</p> <p>現在、北初富から新鎌ヶ谷に向かう道路は自動車の渋滞が多い為、自転車を利用することが多いのですがトラックも多く危険を感じます。最近道路に書かれた自転車レーンのおかげで走りやすくなりましたが、お年寄りや、幼児を乗せた方を見ていると不安があります。</p> <p>もし、緑道が歩行者専用のみであれば、自転車のレーンもご検討いただきたいです。</p>	<p>北初富駅から新鎌ヶ谷駅に向かう高架沿いに緑道などを整備することにより、北初富駅から新鎌ヶ谷駅間の連続性の向上はもとより、貝柄山公園から市制記念公園までを東西に結ぶ緑のネットワークの形成を進めることで、都市生活の安全性や快適性等の確保を目指しているところです。</p> <p>ご意見の内容につきましては、今後、具体的に整備手法を策定する中で検討させていただきます。</p>	無
2	<p>以前、緑化に関するアンケートを提出した後で、関心を持つようになりました。</p> <p>コロナ禍で公園などに行く機会も増え、近隣には大町公園や北総花の丘公園など手入れの行き届いた素晴らしい公園がたくさんあります。</p> <p>比較すると貝殻山公園は花が少なく、落ち葉が多いので茶色のイメージです。</p> <p>時々池が臭うのも気になります。</p> <p>桜の季節は綺麗ですが、もっとカラフルな花を増やして欲しいです。</p> <p>また、芝生広場を設けてパークヨガなどのイベントを企画して頂けたら嬉しいです。</p> <p>宜しくお願い致します。</p>	<p>魅力ある公園づくりには、四季を感じられる心地良い空間や、心身を癒すレクリエーションの場としての空間等の確保が、重要な要素として考えられます。</p> <p>ご意見の内容につきましては、今後の魅力ある公園づくりを進めるための参考とさせていただきます。</p>	無
3	<p>一部事務組合の柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合が進めている都市公園「さわやか環境緑地」も自然とふれあえるレクリエーションの場として、位置付けをしていただけないか検討をお願いいたします。</p> <p>柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合では、廃棄物処理施設周辺整備総合基本計画を策定し、廃棄物処理施設周辺に都市公園「さわやか環境緑地」の整備を進めております。</p> <p>計画区域は柏市及び鎌ヶ谷市にまたがる計画で、柏市様の緑の基本計画にも位置付けをしていただいております。</p>	<p>ご意見のとおり、重要な自然とふれあえるレクリエーションの場として、レクリエーション系統の緑の配置方針に位置付けることで、当該都市公園の着実な整備推進に寄与され、本計画の緑の将来像の実現が図られることから、鎌ヶ谷市緑の基本計画（案）48ページに「さわやか環境緑地」について追記するとともに、49ページに「さわやか環境緑地」を自然とふれあえるレクリエーションの場として図示します。</p>	有

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	市の回答	修正 有無
4	<p>1 名前は大切にしてください。</p> <p>(1)「白旗緑地」という名前は、いつ、だれが、何のために、付けたのでしょうか。</p> <p>他市にも聞こえ 市民の誇りであった「ホタルの里」が、名前を変えていること、( ) 書きになっていることに、驚いています。</p> <p>また、「ホタルの里」の西半分が荒れ放題になって10年以上がたち、きれいに復活させたくて、入会を願ったのですが、「連絡を待ってください」と、7年が経ちました。つい最近、東半分が改変されました。20年以上前から、田を起こし畔を作り、雑草を刈り抜き、お米を育てながら、ホタルやニホンアカガエルを見守ってきてくれた方々の経験や知恵を、聞いての改変だったのでしょうか。童謡の♪ コッチノミーズハ アーマイゾ アッチノ ミーズハ ニーガイゾ ♪ というように、あの車も入れる出っ張りの東と西では、土地の高さも違うし、水も違うはずです。大柏川調整池の隔壁設置にも、ホタルの保護を、要請したのでしょうか。名前も変わり、姿もかわってしまったこと、とても残念です。</p>	<p>白旗緑地については、蛍の里の隣接地について本市が寄附を受け、蛍の里と一体的に蛍の生息環境を保全し、動植物の生息及び生育地の保護に活用することとして、平成30年に都市公園名を「白旗緑地」とし、都市公園法に基づき供用開始の公告を行っております。そのため、従来から皆様に親しまれてきた蛍の里は現在も「蛍の里」としてあります。</p> <p>また、蛍については、例年、生息状況の現地調査を実施しており、白旗緑地周辺にて蛍の生息を確認しております。今後は、大柏川第二調節池の整備による影響を注視してまいります。</p>	無
5	<p>(2)「仮称栗野地区公園」が「栗野地区公園」とかわったのは、いつ、だれが、何のために付けて、決定したのでしょうか。地元の名前を付けることには賛成です。地元の人々の長い努力なくして、存在すらしないものだからです。</p> <p>しかし、栗野がどこなのか何人の市民が知っているのでしょうか。千葉商科大学生の作った「とことこ鎌ヶ谷」に「栗野」が欠けたまま、市内に配布されてしまいました。わたしは、大学の先生に抗議しました。みんなに知られ、親しまれ、愛されるためには、命名時の市民参加や市民全体のものというイメージ作りも大切です。動物園の赤ちゃんの前と同じです。小さなわだかまりも解消しておく必要があります。鎌ヶ谷市にも、南北問題があり、小学校の設立から、市民プール等の歴史にもあらわれ、「地元だけのもの」的な要素を排除するべきでしょう。より多くの市民に親しまれ、保全・管理・拡大させていくために、きちんと手続きを踏んだ名称の決定は大切だと思います。「今更」という問題もあるでしょうが。</p>	<p>本市における都市公園の名称については、通常、「〇〇(地区名)公園」としております。</p> <p>栗野地区公園につきましては、平成15年に都市計画法上の手続きを経て、「栗野地区公園」として都市計画決定し、その後、第一期整備区域についての整備を進め、「栗野地区公園」として、都市公園法に基づき供用開始の公告を行っております。</p>	無

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	市の回答	修正 有無
6	<p>2 水環境の生かし方が、弱くありませんか？            国連で流行り？の「グリーン ウォッシュ」するつもりかとも感じました。「分水界」の写真まで7Pに載せ、「全国でも珍しい」と言葉でも書かれているのに、その誇りと責任が、感じられないということです。</p> <p>(1) 河川6本の名が示されていますが、その水源地になるのです。</p> <p>(2) 池22は、ほとんどは、「都市化」に伴う調整池です。安全確保のフェンスにコンクリート片護岸、そして、汚れた水ではなく、緑色の草木、水草、多様な生き物の住処に改変する工夫はないのでしょうか。</p> <p>(3) 湧水2 「案」には2つしかのせていませんが、まだまだいっぱいあります。埋めて、見限り、見放し、見捨てて蓋をしてしまいました。栗野の森にもあります。モコモコと湧く湧き水。</p> <p>(4) 「絞り水」 「案」では、全く触れられていませんでしたが、高台なのですからいくらかでもあります。ちょろちょろと、少しずつ、ゆっくり流れ、集まって、小さな水路になっていく。勿論、水温が低いですから、昔の人は、田んぼを一周させたり、日光に当てたりしてから、田んぼに使いました。市内至る所にあります。「栗野の森の多目的広場」に雨の日に行ってみてください。絞り水が2本の線になって流れ、多目的広場を使えない状態にしていますから。</p> <p>(5) 「水路」 「案」では触れられていません。でも、高台の斜面下に、昔、田んぼのあったところでは、今も「コンクリート製の水路杭」が刺さっています。栗野コミュニティセンター近辺には、この杭だけです。この水路も杭も市長の許可なく撤去できないと聞きました。だから、大津川流域には、たくさん今も頑張っています。そんな水路跡を復活させたいと、有志で掘ったら、ドジョウが出てきたのです。水路跡をたどっていくと、小さなため池跡（今も小さな水たまりになって水深も30cmほど）もあって、スッポンの冬越し場所になって数匹いたこともあります。</p> <p>農政課に聞くと「休耕地も耕作放棄地も、鎌ヶ谷市には、一つもありません」とのこと。(1)～(5)を生かす気持ちや知恵はないのでしょうか。</p>	<p>貯留池及び調整池については、コンクリートに囲まれた構造が多く見られますが、時間の経過に伴い自然が再生され、貯留池等の内側には植物が繁茂し多くの生物が生息しております。</p> <p>湧水については、本市の代表的な湧水として、環境省が公表している「千葉県の代表的な湧水」に挙げられている、「道野辺囃子水の湧水」・「中沢白旗の湧水」を本計画に記載しております。</p> <p>水環境については、鎌ヶ谷市緑の基本計画（案）65ページの施策「2-3水環境の保全、2-4白旗緑地（蛭の里）の保全」のとおり保全を図り、75ページの施策「3-12ピオトープの整備」のとおり活かすとともに、81ページの施策「4-7河川沿いの緑道整備」のとおり水環境に親しめる方策について検討してまいります。</p>	無

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	市の回答	修正 有無
7	<p>3 緑を、つなぐ、広げる、増やす工夫を続けましょう。</p> <p>「案」では、いくつもの努力がうかがえます。しかし、「今のままでいい」という感が否めません。緑地率・緑被率・公園面積にしても、他市12との比較でも明らかな現実に対する解決策を、一緒に考えませんか。</p> <p>(1) 自衛隊の草原・ゴルフ場・梨畑・国道464号線(北総線)沿い・斜面森等を生かせませんか。</p> <p>自衛隊の草原には、マツムシという昆虫がいて、少しずつ住処を広げ、自衛隊フェンス外の草地や梨畑周辺にも、生息しています。ウスバカマキリもノウサギも自衛隊の草原から道路を渡って広がってくるのです。後継者不足で次々になくなっていく梨畑!子どもたちは「鎌ヶ谷の宝は?」と聞くと「なしー」と元気よく答えます。しかし、風で防ぐためと、隣接した住宅の人々の冷たい目や捨てられるごみから守るための醜い塀。緑の緩衝帯を作って、もちろん、枝落ちで梨畑の網が傷つかないように植栽で樹木と散歩道を、つくる・・・というのはどうでしょうか。</p> <p>斜面森は、土地所有者も売れずに困っています。崩れるし、木は倒れるし、ごみは捨てられるし、物は落ちていくし、・・・しかし、子どもたちは大好きです、生き物たちも大好きです。希少種も残っていることもあります。鎌ヶ谷市には、たくさんありますね。</p> <p>大柏川第2調整池は、魅力的です。地上部利用について、大多数を占める鎌ヶ谷市に対し、何度も意向のお伺いに来ているはずですが。広大な面積!豊富な水量!ただ、広大な掘削土の廃棄場所=活用方法に困っているのですが。昔の「県立葛南〇〇公園」の構想を、思い出しても、いいのではないのでしょうか。</p> <p>今ある草地・樹林地を孤立・分断させるのではなく、間にフェンスがあろうと、生き物たちは動きます。つなげ広げていく工夫と、それによる草地と樹林地の保護・保全ができると思うのです。つなげることで、生き物たちは、身を守りながら自由に行き来ができるのですから。境は、人間が作るものです。</p>	<p>本市の市民一人あたり都市公園面積については、比較対象都市12市においては最も低く、その要因については、緩衝緑地等や国有地・県有地・県立公園の都市公園の面積で大きな差が生じております。詳細は鎌ヶ谷市緑の基本計画(案)18・19ページをご参照ください。</p> <p>緑の緩衝帯に関しては、81ページの施策「道路植栽の整備(緑のネットワーク)」を進めてまいります。</p> <p>市内における県事業については、県との連携を図ってまいります。</p>	無
8	<p>(2) 林業、農業・食糧生産への反省と再考が、必要ではありませんか。</p> <p>田んぼはなくなり、後継者不足で梨畑減り、「鎌ヶ谷市の農業」も、危機的な状況です。食糧自給率の低さや今後の世界の食料安全保障の先行きからも、国の政策の後追いだけでは、自治体として危うい状況ではないのでしょうか。農家を守り、農業を守り、農地を守ることは、緑にとっても、生き物にとっても、市民にとっても、もう、お題目だけでは済まされないと思います。「生産緑地地区」という看板は、その後、どうなっているのでしょうか。</p> <p>ましてや、「釜ヶ原」の地域は、江戸や松戸・船橋へ山の幸である「材木・薪・炭～食料・馬」を送っていた「分水界」の地だったではありませんか。76Pの「伐採木の活用」にいたっては、今、市内の各所に積まれた伐木を見るだけでもわかるように、木・樹木・林業に対し、失礼だと思えます。</p>	<p>農業に関しては、鎌ヶ谷市緑の基本計画(案)62ページの施策「1-3ボランティア体制の支援」にて援農ボランティアの育成を進め、66ページの施策「2-6農地の保全」・67ページの施策「2-7農業の支援」にて生産緑地地区も含めた農地の保全及び農業の支援を行います。</p> <p>本市の公園に積まれた伐木については、主にカシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によりミズナラ等が集団的に枯損する「ナラ枯れ」に罹患した樹木を伐採したものです。この伐木については、計画的に搬出を進めております。</p>	無

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	市の回答	修正 有無
9	<p>(3) 希少種の保護には、最大限の配慮をしてください。</p> <p>46P「生態系サービス」 57P「グリーンインフラ」を載せているのですから、10P「栗野地区公園の生物多様性」は、いけません。多様性についてはいいのですが、オオタカのことはいけないと思います。</p> <p>キンラン・ギンラン・ヤマユリ～ホタル～ノウサギ・タヌキ～キツツキ・フクロウ・オオタカ・・・</p> <p>が、まだいるというだけで、市民にとっても研究者にとっても嬉しく誇らしいことです。貴重な生き物の息を市民が知ることも必要でしょう。と、同時に、マナーの周知も肝要なことです。泥棒さんが、困るのです。栗野の森でも、毎年、たくさんの植物が、盗掘に遭っています。名札を付けないようにしているものも、少なくありません。</p> <p>今の段階で、10ページのような形で公表することが、必要なのでしょうか。50年以上鎌ヶ谷市を見つめ見守ってこられた先生方へ確認はしたのでしょうか。これもマナーです。</p> <p>61Pのヤマユリの「生き物解説版」は、栗野の森の会で制作・掲示したものであり、一言あるのがマナーですし、何度も盗掘に遭っているヤマユリです。竹柵を壊してまで、堂々と盗んでいかれるのです。 緑は生かされても 活かされても いないと思います。市民も 市民の意見も。</p> <p>・・・・・・・・</p> <p>1978年 鎌ヶ谷市 市民憲章 第一条</p> <p>1990年 鎌ヶ谷市 緑の都市宣言</p> <p>・・・・・・・・</p> <p>2022年 緑の基本計画（案）。もう、御題目から卒業しませんか。</p>	<p>栗野地区公園は、様々な動植物が息を・生育しているなど、市内においては非常に生物多様性に富んだ緑地です。</p> <p>栗野地区公園の生物多様性を確保するための取り組みとして、在来種の保全やマナーの周知を図ってまいります。</p> <p>鎌ヶ谷市緑の基本計画（案）61ページの写真については、環境講座の写真に差し替えることとします。</p>	有
10	<p>1 軽井沢地区内にいわゆる軽井沢用地ある事を知ったので、そこに行ってみた。なるほど台地を雑木が繁茂していて鬱蒼としている。この軽井沢用地を整備して市民のためのキャンプ場あるいは自然探索場に是非して欲しい。今でもボーイスカウトがキャンプ場に使っているようであるが一般市民も利用できたら、大変喜ぶのではないだろうか。キャンプ場まで水を引く工事が必要だが、すぐ近くまで住宅地が来ているので可能なのではないだろうか？この軽井沢用地の隣接地には掩体壕もあり、市の歴史を知る上でも大切な所だと思う。</p> <p>切実にお願したい事は、金を求めて他に売却することは絶対にしないで欲しいということである。自然と緑は、金にはかえられないものである。</p>	<p>軽井沢地区内の本市の所有地について、歳入の確保は大事な視点ではありますが、ご意見のとおり、現在、残されている緑は、本市の貴重な財産であると認識しており、この所有地に関して、現時点では、具体的に売却の予定は無いところですが、</p> <p>また、利活用につきましても、土地の形状として、三方が斜面地となっており、ご意見にあった水道などのインフラを含めて、整備には一定の費用が必要になること、市街化調整区域内のため利用には一定の制限があること等を踏まえる必要がありますが、いただきましたご意見も踏まえて、公共的な利活用ができないか、検討してまいります。</p>	無
11	<p>2 緑を求めて散策したいと願っている市民は沢山いる。「緑と自然の散策マップ」のような簡単な案内を作れば、市民はそれを手にして市内を歩く事が多くなると思う。</p>	<p>市内外の方々に本市の魅力ある緑に親しんでいただくための方策を、鎌ヶ谷市緑の基本計画（案）61ページの施策「1-1 緑に関するPR」において検討してまいります。</p>	無
12	<p>3 また市が率先して、街に緑を植え、四季の到来を市民が感じる街にして欲しい。大分前（清水市長の頃）、鎌ヶ谷市を南北に貫くバイパス線を作った時、県が、沿道に街路樹を植える予算を組んだにも関わらず、市がこれを断ったとの噂が耳に入ってくる。これが事実なのか、全くわからないし、断ったとしてもその理由も定かではない。もし事実なら、街を緑にしようとする施策とは真逆な方向に向いている。今後はやめて欲しい。</p>	<p>市街地において良好な景観を形成する緑については、鎌ヶ谷市緑の基本計画（案）72ページの施策「3-6 駅前広場の緑化、3-7 都市軸の景観形成」のとおり快適で魅力ある景観形成を進めるとともに、81ページの施策「4-8 道路植栽の整備（緑のネットワーク）」のとおり道路整備に伴い街路樹や植樹帯を整備することで、市内の緑を結ぶ、緑のネットワークの形成を図ります。</p>	無

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	市の回答	修正 有無
13	<p>4 東武鎌ヶ谷駅から鎌ヶ谷3丁目の交差点まで、ナンテンハギが植えられており、秋になると素晴らしい紅葉が見られ、あの道を歩くのが楽しみだった。ところが、今年は紅葉前にその枝葉を業者に頼み切ってしまった。なぜなのだろう？何か理由があるのだろうか、付近の住民が納得いくような説明が欲しいと思っている。</p>	<p>本市における街路樹の剪定については、樹木の健全な生育と良好な樹形を維持するため、二年に一度の割合で行っております。また、落ち葉は道路利用者の安全確保や集水樹の詰まりによる道路冠水の防止等のため、樹木から落葉する前に行うこととしております。</p>	無